「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | | ②職名・授業者氏名 | | ③教科 | ④ペアでの  話合い活動 | ⑤グループでの  話合い活動 |
| ６年１組 | | 授業者氏名または学校名 | | 国語 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | | 表現を工夫してファンタジーを書こう　『きつねの窓』 | | | | |
| ⑦本時のねらい | | （学習内容）  （学習活動）  （育成をめざす資質・能力） | | | | |
| ⑧本時の評価規準 | | 【思考・判断・表現Ｃエ】想像した作品世界と関わらせながら、それぞれの表現技法が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしている。〔ノート〕 | | | | |
| ⑨  展開 | めあて | 自分の作品づくりに生かすために、プロの作品から表現の仕方を取材しよう。 | | | | |
|  | 課　題 | 『きつねの窓』にはどんな表現の工夫や効果があるのかな。 | | | |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て  ・　※自校の児童を想定して記入 | | | |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て  ・　※自校の児童を想定して記入 | | | |
| まとめ |  | | | |
| 振り返り | ・不思議な世界の入口の書き方のイメージがつかめた。  ・ほかにもたくさんの表現技法が用いられているはず。もっと取材したい。等 | | | | |
| 板書計画  めあて  自分の作品づくりに生かすために、プロの作品から表現の仕方を取材しよう。  きつねの窓　　　安房　直子  課題  『きつねの窓』にはどんな表現の工夫や効果があるのかな。  まとめ | | | | | | |